



2014年
11月2日

メキシコ市の
日本食レストラン
DAIKOKU
現在メキシコには
「日本食レストラン」が
100軒以上あるらしい。

この DAIKOKU は 正調日本食レストラン。
35年程の友人でもある取引先と知り HUGO G
一家の会合。

水中ボートの技術指導の取引をしていた時代。

研修生として約10ヶ月日本に滞在。

その時日本文化が好きになり、日本人のよ
さを感じた。多分は定年→テニサー。

三男はテニサーで日本に。

当の HUGO G は 船主後、

この DAIKOKU 研修教室

の中心に元気に活躍している。テニサー方面

の専門家。その彼が、この DAIKOKU の 7/21/12

を母の日の。現在日本の検定試験の合格

2015年7月には再度(3月)の受験の予定あり。

2級合格を目指している。その DAIKOKU の 典型的な

7/21/12 を新しい DAIKOKU モデルとして完成。

現在メキシコ市の本部を中心に、メキシコ

の「道場」(DOKU)をフジテレビなど他社

展開中。ご支援!

今回帯在中にメキシコ市から車で2時間

位の PUEBLO 市の DOKU に案内された。

道はカラフルな海側のベラクルス市

の DOKU からスタートされた。

この DAIKOKU は 貴方が作ったものではない。

この DAIKOKU は 貴方が作ったものではない。

この DAIKOKU は 貴方が作ったものではない。



**2014年
11月3日**

メキシコの電力庁、
ベメックスとの取引の
弊社へ窓口として
してくれている
会社の社長とメキシコ
事務所所長と会食。
自慢の肉専門店
有名なソナロサ
(東京なら銀座)の一角。



アテンドしてくれた
セニョリータ



**2014年
11月4日**

メキシコの取引先
工場内の部品・工具
置き場／倉庫
金網で囲まれている
のが我々日本人には
一寸異様。

とにかくメキシコは
カギが多い。

雑居ビル内のトイレも
カギで出入りする所多し。
メキシコに限らないかも。
ブラジルの大手製鉄
会社等も同様
パーツ、工具はカギ
をかけられる一角で
管理すること多し。





**2014年
11月5日**

メキシコ市
BRISTOL HOTEL
昔、水中ポンプの
技術提携の仕事をした時のパートナーとその息子と会食。
新しい商材の話をした。



**2014年
11月7日**

フロリダ州
フォートローダデール市
HORNER 社訪問
石内顧問同行
(温泉施設、プール等の
汙過関係仕入先)



**2014年
11月7～8日**

マイアミ市
レバノン人の親友と家族、
友人とベニハナで会食。
マイアミ滞在中はいつも
彼の自宅を常宿とさせて
もらっている。

レバノンの友人と家族と友人とベニハナで会食。
マイアミ滞在中はいつも彼の自宅を常宿とさせてもらっている。
昨年(?)世界一の力を持つという会社を大々的に
展開させた。カリフォルニア、
同社のカリフォルニアとアラバマ州に
工場を建設中。



**2014年
11月11日**

MAGNESITA 社
工場内一角のゴミ箱、
ゴミを色分けで分類処理。

下の写真は街中のゴミ箱。
同じく色分けされていた。

昔のブラジルなら
文盲率が高かったから…
という解釈もできるかも
知れないが、
ブラジル人の色彩感覚の
なせる技と理解したい。

余談：25年(?)位前に南米
を出張した折、ベネズエラ
のカラカス市で選挙運動の
時に見た光景は正しく文盲
率の高かった時代。
VOTE NEGRO! (黒い投票)
VOTE ROJA! (赤い投票) と
呼びかけていた (ポスターで)



**2014年
11月11日**

ペロオリゾンテ市
ウジミナス
製鉄所本社訪問
弊社の Representante
(代理人) と
購買部の女性
マネージャー



ブラジルと云えば
シュラスコ料理。
主に牛肉 (各部位が
次から次に出てくる)
この日はダイエット
はあきらめた



**2014年
11月13日**

ビクトリア市
全ての日程終了。
ビクトリアの海岸に
面したレストランで
打ち上げ会食。
ブラジル風ブイヤ
ベースで締め。
弊社 Rep と同行の
石内顧問と



2014年
11月14日

ロスアンゼルス

拓大時代からの親友、藤森
 大学3年の5月横浜港から移民船で出発。
 ラテンアメリカ研究会、海外移住研究会、フービル学院
 の三部会連の統勢17~8名の調査団の一員として参加。
 元々の計画は1年弱で第一級に帰国する予定だったが
 彼は当初の居る気はなかった確信犯(?)的意向
 を持って出国。フービル、アンセリオン、パウグリスに長期
 滞在後、パウグリスからオーストラリアで陸路コロンビア
 行と空路マリアナ海を2人で歩いてアホホホに半
 到達。パウグリスの若者10人ほどを引連れての長旅行。
 その後40余年の人生で仕事、ナポリ人、その他中南米
 の生計と労働者を使い遠くまで成功。
 小生、中南米へ出た経験は帰路の経験で彼の
 会話が楽しか。

今回の食を共にしてかなり面白いこと。
 アメリカの保険会社で働いて、毎週末の関係を話。
 長アメリカの医療費は高いと聞いていたが、一
 週間前前奥土の3日入院。

病院からの請求額がかなり強(約4万円弱)。
 支払の方法は?とまて: 全額保険でしか
 保険会社の直接病院へ支払う由。
 総計奥土に支払う毎月100ドル(約95,000円)の
 保険料を各人が支払う。とのこと。
 保料の金額の2倍所得者層のほとんどは?と
 まて。一定水準以下の所得者は医療費ゼロ。
 当然、治療方法も病院のケア。対応は驚
 異。

アメリカの大統領の政策は、この様にアメリカ
 国内の所得層を保護するのと先般の中間選挙で
 上、下院とも共和党の勝利を収めた結果である
 とい。外交面を富の2才は評判がよ
 くない。

長交通事故訴訟の場合を思い出すと100万
 円程度の毎週末が7日~20日かの判決が出る。
 勝訴した側が100万の保険金をとらうという。
 (表向きは)。そのうち100万の原告、100万の
 毎週末。その後毎週末は付随する調査、裁
 可多目か1~20位をとりまくのと事故の
 当事者には10位かそれ以上。とのこと。

事故に遇った被害者がかかり病院をトク
 には毎週末が指定した7日~12日の支払いと
 12日~21日とあり、この道保険で処理される?
 原告は高額の請求をしない。

保険会社は案々に見逃しをとり月々の
 保険料が安くなる様子を見ている。元々
 関連する保険の種類を次々〜「新商品」と
 して売り出すことになっている。

世の中の流れは経済活動の元とあり
 力者の流れを大きく作用する(貿易の
 大規模の力に比べて関係は小さか)のかわり
 保険会社は含み資産を投資対象。入った
 の元は元々にして作られたものか?